

# 東北地方太平洋沖地震 災害対策特別委員会

3月16日に設置した東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会（城内仲悦委員長、構成は議長を除く全議員）が、4月5日に第1回目の委員会を開催し、当局から被害状況の説明を受けた後、大きな被害を受けた宇部町久喜地区から待浜町桑畑漁港までの海岸部を南から北へ住宅、漁港、工場、観光施設などの被害状況を調査しました。

## 被害状況

(1) 人的被害	死者4人 行方不明者2人 重傷者1人 軽傷者7人
(2) 住家被害・非住家被害	住家全壊55棟 住家大規模半壊34棟 住家半壊153棟 住家一部損壊162棟 住家計404棟 非住家全壊230棟 非住家大規模半壊51棟 非住家半壊217棟 非住家一部損壊68棟 非住家計566棟
(3) 民間施設・公共施設等被害額	218億4777万円（平成23年4月18日現在）

○観光施設（地下水族科学館、小袖海女センターほか）  
8億9897万円  
○商工関係（北日本造船ほか）  
94億9572万円  
○水産関係公共施設（魚市場ほか）  
6億8000万円  
○水産関係民間施設（久慈市漁協食品加工場ほか）  
33億9335万円  
○漁船流失、一部損傷  
575隻 16億1730万円  
○漁具・魚網流失、全損  
31億1211万円  
○漁港施設等（汚水処理場損壊、臨港道路破損）  
10億6450万円  
○土木施設（道路）  
2億4650万円  
○土木施設（下水道）  
4億2000万円 など

## 被害状況調査

久喜地区は、多くの住宅が流失、倒壊し、道路、漁港の防波堤などが大きな被害を受けていました。

小袖地区は、昨年完成した「海女センター」が流失し、「さわやかトイレ」は跡形もありませんでした。

舟渡地区は、「ふなどレストハウス」が全壊していました。



玉の脇地区は、県道野田長内線沿いの店舗などが全壊し、加工施設や荷捌施設も流失していました。



諏訪下地区は、魚市場が被害に遭い岸壁が壊れ、漁協、冷凍水産加工業協同組合、嵯峨商店などの水産加工施設は大きな被害を受けていました。



半崎地区は、地下水族科学館「もぐらんぴあ」が全壊、「もぐらんぴあレストショップ」は跡形もなくなっていました。石油備蓄基地は管理棟周辺の地上施設が壊滅状態、誘致企業の北日本造船も大きな被害を受けていました。



また、久喜、小袖、玉の脇、半崎、麦生、白前、横沼、桑畑などの漁港には船が全く見えませんでした。



## 編集後記

議会広報編集特別委員会  
副委員長 小倉建一

3月11日発生の巨大地震と津波による大災害に際しまして、被災されました皆様によりお見舞い申し上げます。また、被災で亡くなられた方のご遺族の皆様、衷心よりお悔やみを申し上げます。あの大きな揺れ、久慈湾を山のように盛り上がった進む黒い大津波。自然の恐ろしさを肌で感じた一日でした。高い防波堤をはるかに越えての住宅の流失、倒壊。基幹産業の海岸部の工場、公共施設等の被害は甚大。雇用問題が更に深刻になるかと心を痛める日々。

そのような中、3月16日に新年度予算を可決、東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会設置などを決め、3月定例会議が閉会されました。市内でも復興に向けた動きが始まっております。市民のみなさんと力を合わせ、一日でも早い復興を……がんばろう久慈！がんばろう岩手！がんばろう日本！

## くじ市議会だより

No. 22号

■編集

久慈市議会広報編集特別委員会

■発行

久慈市議会

久慈市川崎町一番一号

■印刷

(株)ヘイハン印刷

第22号

2011年  
(平成23年)  
5月1日発行

# くじ市議会だより

## — 入学式にちょっぴり緊張もしている湊小学校の新1年生 —

### 主な内容

- ・市議会を読む 3月定例会……………2～3
- ・委員会の審査から……………4～5
- ・一般質問・各会派の関連質問……………6～13
- ・特別委員会の審査……………14





# 東北地方太平洋沖地震 災害対策特別委員会を設置

金刀比羅神社から見た大津波

第26回市議会3月定例会は、2月21日から3月16日までの24日間の会期で開かれました。

3月定例会では、山内隆文市長が施政方針を、鹿糠敏文教育委員長が教育行政方針を述べ、当初予算は予算特別委員会を設置して審査しました。

一般質問では、各会派を代表して4人、個人で4人の議員が市政の諸問題について質疑を交わしました。

平成23年度当初予算、平成22年度補正予算、条例の改廃など市長提出議案32件について審議し、すべて原案のとおり可決しました。

最終日には、東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会を議員発議により設置しました。

## 当初予算

一般会計、各特別会計及び水道事業会計の当初予算9件は、原案のとおり可決しました。

### ●平成23年度一般会計予算

一般会計当初予算は、歳入歳出の予算総額をそれぞれ192億7760万円とし、予算規模は前年度の当初予算と比較し14億6330万円、8・2%の増となりました。

### ●平成23年度土地取得事業特別会計予算など8件の特別会

一般会計など11件の補正予

## 補正予算

計予算及び平成23年度水道事業会計予算

詳しくは、5ページの予算特別委員会をご覧ください。

## 条例等

3月定例会では、条例改正など10件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

### ●国民健康保険条例の一部を改正する条例

出産育児一時金について、時限措置により給付していたものを恒久措置として給付額を「35万円」から「39万円」

に改正するものです。

### ●一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例

本年4月1日に施行される「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の改正に伴い、改正するものです。

### ●市税条例の一部を改正する条例

合併時、不均一課税とした

国保税を統一するため、合併前の山形村の区域に住所を有する者に対する国民健康保険税の所得割額等を改正するものです。

### ●保育の実施に関する条例の一部を改正する条例

児童福祉法の改正により、家庭的保育事業が定義されたことに伴い、「保育の実施」を「保育所における保育」に改正するものです。

### ●へき地保育所条例の一部を改正する条例

休園中の「久慈市立日野沢保育園」を、平成23年3月をもって廃止するものです。

### ●辺地に係る公共的施設の総合整備計画を定めることに関し議決を求めることについて

辺地の公共的施設を整備するに当たり、総合整備計画を定めるものです。

### ●久慈広域連合の処理する事

## 議案等審議結果

### 第26回市議会3月定例会

#### 【当初予算】

- 平成23年度久慈市一般会計予算
- 平成23年度久慈市土地取得事業特別会計予算
- 平成23年度久慈市国民健康保険特別会計予算
- 平成23年度久慈市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成23年度久慈市介護サービス事業特別会計予算
- 平成23年度久慈市魚市場事業特別会計予算
- 平成23年度久慈市漁業集落排水事業特別会計予算
- 平成23年度久慈市公共下水道事業特別会計予算
- 平成23年度久慈市水道事業会計予算

原案可決＝賛成多数  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝賛成多数  
原案可決＝賛成多数  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致

#### 【補正予算】

- 平成22年度久慈市一般会計補正予算（第4号）
- 平成22年度久慈市土地取得事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成22年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- 平成22年度久慈市老人保健特別会計補正予算（第2号）
- 平成22年度久慈市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 平成22年度久慈市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成22年度久慈市魚市場事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成22年度久慈市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成22年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成22年度久慈市水道事業会計補正予算（第3号）
- 平成22年度久慈市一般会計補正予算（第5号）

原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝賛成多数  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致

#### 【条例等】

- 国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例
- 市税条例の一部を改正する条例
- 保育の実施に関する条例の一部を改正する条例
- へき地保育所条例の一部を改正する条例
- 漁業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例
- 山村留学住宅条例を廃止する条例
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画を定めることに関し議決を求めることについて
- 岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて
- 久慈広域連合の処理する事務の変更及び久慈広域連合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて

原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝賛成多数  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致  
原案可決＝全会一致

#### 【人事】

- 教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて
- 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて

同意＝全会一致  
同意＝全会一致

#### 【議員発議案】

- 東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会の設置について

原案可決＝全会一致

算は、原案のとおり可決しました。

### ●平成22年度一般会計補正予算（第4号）

今回の補正は、6億7142万4千円を追加し、補正後の予算総額を203億6517万1千円とするもので、原案のとおり可決しました。

### ●平成22年度各特別会計補正予算8件、平成22年度水道事業会計補正予算、追加提案された平成22年度一般会計補正予算（第5号）

3月定例会では、条例改正など10件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

### ●国民健康保険条例の一部を改正する条例

出産育児一時金について、時限措置により給付していたものを恒久措置として給付額を「35万円」から「39万円」

務の変更及び久慈広域連合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて

久慈広域連合の処理する事務の変更及び連合規約の一部変更をするものです。

## 人事

### ●教育委員会の委員に河野貫治さん（湊町）を任命することに同意しました。

### ●人権擁護委員候補者に大橋栄太郎さん（京の森）を推薦することに同意しました。

## 議員発議案

### ●東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会の設置について

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及びこれに伴う津波災害の早期復旧のため「東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会」を設置しました。

特別委員会の構成は、議長を除く議員全員とし、委員長には城内仲悦議員、副委員長には桑田鉄男議員が選出されました。



# 委員会の審査から

総務、教育民生、産業経済の各常任委員会は3月4日に、予算特別委員会は3月8から10日まで、それぞれ委員会を開き審査しました。

## 総務

総務委員会に付託された議案1件を審査しましたので、その概要を紹介します。

●岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関する協議を求めることについて

本年4月1日から盛岡地区広域行政事務組合が盛岡地区広域消防組合に名称変更することに伴い、岩手県市町村総合事務組合規約の一部を変更することについて、関係市町村に協議があったことから、地方自治法第286条第1項及び第290条の規定により、議会の議決を求めるものです。委員会では、本案に関連し、久慈地区広域行政事務組合が廃止され、久慈広域連合が設置された経緯や、地方自治法に規定されている一部事務組合と広域連合の違いなどについて質疑、答弁が交わされたところであり、採決の結果、全員異議なく原案のとおり決しました。

## 教育民生

教育民生委員会に付託された議案6件及び請願1件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介します。

●山村留学住宅条例を廃止する条例

本条例は、山村留学生及びその家族の住宅の用に供するため設置された条例であり、平成22年度末をもって山村留学の児童2名が繫小学校を卒業予定であること、また、平成23年4月1日をもって繫小学校の閉校をすることに伴い、山村留学住宅条例を廃止しようとするものです。委員会では現在の入居の状況、今後の活用方法、児童数の見通し、条例廃止の時期、廃止後の使用方法及び使用料などについて質疑、答弁が交わされたところであり、採決の結果、全員異議なく原案のとおり決しました。



山村留学住宅を視察する教育民生委員会

## 産業経済

産業経済委員会に付託された議案1件を審査しましたので、その概要を紹介します。

●漁業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

本条例は、小袖地区漁業集落排水処理施設を追加しようとするものです。当局から、事業費は16億円であること。平成22年度末の進捗の状況、一部供用開始及び事業完了年度の予定。計画処理人口・整備対象戸数、汚水処理の方法などについて説

## 予算特別委員会

平成23年度一般・特別予算総額

260億3701万円

## 予算特別



八重櫻予算特別委員長

予算特別委員会（八重櫻友夫委員長、構成は議長を除く

全議員）に付託された平成23年度一般会計予算、土地取得事業など7件の特別会計予算及び水道事業会計予算について審査し、いずれも原案のとおり決しました。

●平成23年度一般会計予算の概要

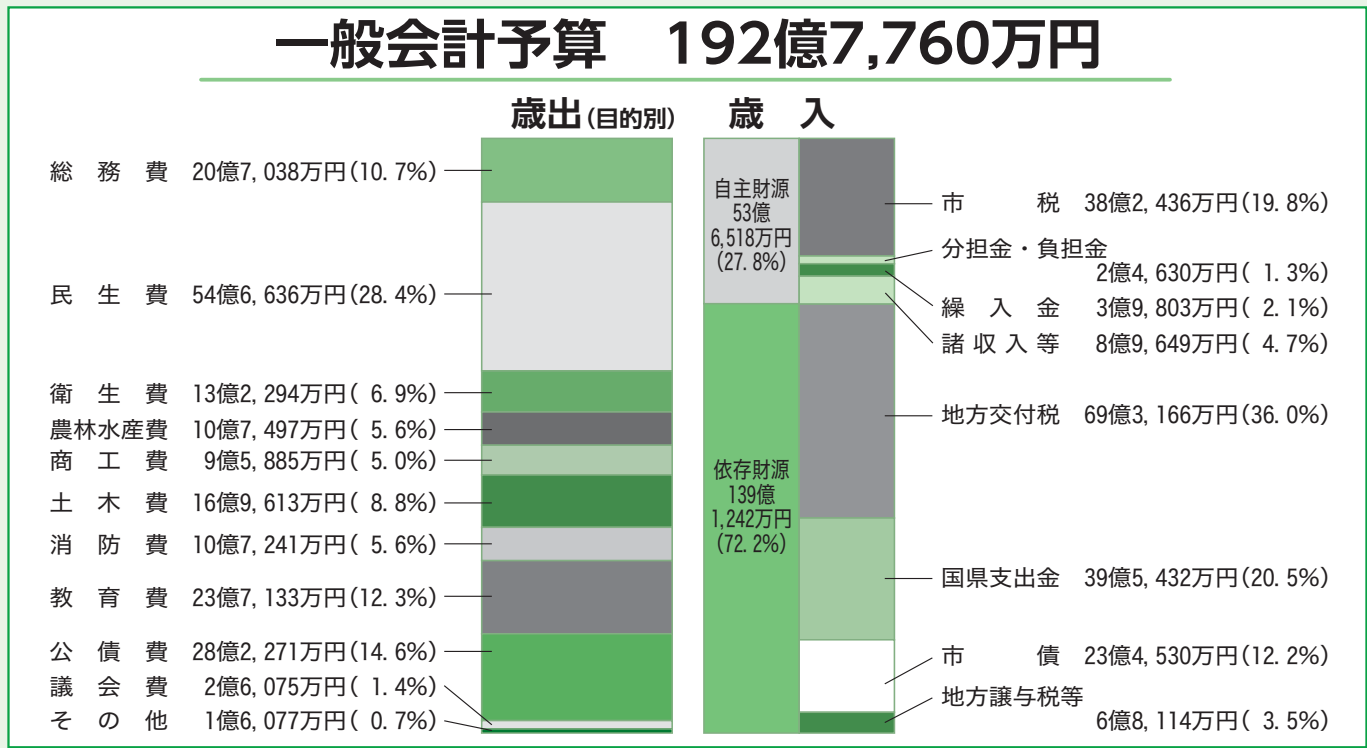
歳入歳出予算の総額は、192億7760万円であり、

予算規模は、前年度予算額と比較して14億6330万円、8・2%の増額となっています。歳入の主な項目を前年度予算額と比較すると、市税は7710万円、2・0%の減少。地方交付税は3億4692万円、5・3%の増加であるが、このうち普通交付税は63億3165万円で、3億4692万円、5・8%の増加、特別交

付税は、前年と同額の6億円。国庫支出金は2864万円、1・2%の増加。県支出金は9694万円、6・5%の増加。繰入金金は2億6916万円、208・9%の増加。主に財政調整基金繰入金の増加によるものです。市債は7億3310万円、45・5%の増加、これは主に火葬場施設整備事業債、義務教育施設整備事業債の増加によるものです。

歳出について目的別に主な項目では、民生費は3億1497万円、6・1%の増加、主に子ども手当の増加によるものです。衛生費は2億5832万円、24・3%の増加、主に久慈広域連合火葬負担金の増加によるものです。農林水産業費は2億1036万円、24・3%の増加、主にいわて未来農業確立総合支援事業費、漁港整備事業費の増加によるものです。商工費は7780万円、8・8%の増加、主に平庭高原スキー場施設整備事業費の増加によるものです。土木費は3億5453万円、17・3%の減少、主に市営住宅整備事業費の減少によるものです。消防費は2億4877万円、30・2%の増加、主に久慈広域連合消防負担金の増加によるものです。教育費は5億8838万円、33・0%の増加、主に久慈小学校改築事業費、学校維持補修経費の増加によるものです。災害復旧費は5388万円の増加、主に市道久慈溪流鰻測線の復旧工事によるものです。公債費は1283万円、0・5%の増加となっています。

一般会計・各特別会計の予算			
(△はマイナスを示す)			
区 分	23年度	22年度	伸率(%)
一 般 会 計	192億7,760万円	178億1,430万円	8.2
土 地 取 得 事 業	2,279万円	2,327万円	△2.1
国保（事業勘定）	44億6,507万円	44億 87万円	1.5
国保（直診勘定）	2億7,352万円	2億6,484万円	3.3
老 人 保 健	0円	271万円	皆減
後期高齢者医療	2億5,642万円	2億3,786万円	7.8
介護サービス事業	9,214万円	9,555万円	△3.6
魚 市 場 事 業	2,566万円	2,651万円	△3.2
漁業集落排水事業	2億7,332万円	4億2,252万円	△35.3
公共下水道事業	13億5,050万円	14億 385万円	△3.8
特別会計合計	67億5,942万円	68億7,798万円	△1.7
一般・特別会計合計	260億3,702万円	246億9,228万円	5.4



小袖地区の処理施設を視察する産業経済委員会



## 合併5周年の総括は

市長―新市の均衡ある発展実現に取り組んでいる

【問】旧山形村と旧久慈市が合併して5年を経過したが、5年の総括と合併効果を実感できる今後の施策、事業展開の考え方は。

【答】平成18年3月6日合併以来、新市の均衡ある発展の実現を目指し、新市建設計画に掲げる諸施策に取り組み、基幹事業として位置づけた「夢ネット事業」では、公共施設等に光ケーブル網を敷設したほか、携帯電話の不感地域解消を図った。

地域コミュニティ振興事業では、自主的な活動による活力ある地域社会の創出を図り新市まちづくりに大きな成果を残していると考えている。

教育・医療・福祉・子育て支援の充実、雇用の場の創出確保、生活・生産両面にわたる基

盤の整備等着実に成果が表れつつあると判断しており、新市一体感の醸成も着実に生まれているものと認識している。

今後は、更に合併効果が実感できるよう市民との協働を推進し、総合計画後期基本計画に掲げる施策や事業を着実に推進していきたい。

### 久慈街道踏切に歩道の設置を

【問】久慈橋南側の市道二十八日町新井田線にある久慈街道踏切に歩行者、自転車用安全レーンを設置する考えは。

【答】交通量が多く交通の円滑化、安全確保のためJR東日本盛岡支社と協議し、平成23年度予算に測量設計費を計上したところであり、整備手法等の検討を行い、踏切内の歩



久慈街道踏切を渡る歩行者

道整備に取り組んでいきたい。【問】ドクターヘリの県境を越えた連携をすべきでは。

【答】県では平成24年度にドクターヘリを矢巾町の岩手医大キャンパスに配備予定である。当市としては半径50km圏内での運行が救命率等から効果的な活動範囲と認識しており、岩手県知事に対して広範囲な県土をカバーするため複数機

での運行と県境を越えた運行の実現を要望しているところである。

【問】盛土等により、動物が道路を横切り自動車と衝突しないよう野生動物に配慮した道路整備の考えは。

【答】道路整備にあたっては野生動物、自然界への影響を最小限に抑えることは重要であると認識しており、特にも現在、事業着手している八戸久慈自動車道久慈北道路については、野生動物の生息環境の保全や走行車両との衝突事故の危険性も考慮すべきと認識している。

【その他の質問項目】 国家的プロジェクトの導入／地デジ化の状況／第一次産業の振興／市道中の橋梁町線の拡幅／新野球場の建設 ほか

## 各会派の 関連質問

### 政和会

◆藤島 文男 議員

街路広美町海岸線の完成は

【問】都市計画道路広美町海岸線の完成見通しを示せ。

【答】本路線は、地質調査や交通量調査が終了し事業認可

に向け概略設計、交差点協議等を進めている。

来年度には事業認可申請、道路詳細設計、用地測量等を行い一部の用地買収や補償等を実施し、平成27年度完成を目標に順次、整備していきたいと考えている。

【その他の質問】津波避難対策用照明灯の設置

◆砂川 利男 議員

郷土芸能ナニヤドヤラ保存を

【問】当市の貴重な郷土芸能であるナニヤドヤラを消滅させないため、意味と起源を調査し、分類資料の保存をすべきでは。

【答】盆踊りとして受け継がれているナニヤドヤラの意味と起源は、さまざまな説があり、明確にはとらえていない。踊りのリズムや踊り方が地区ごとに異なっており、実態の把握や分類は困難な状況であるが、組織的に保存・伝承活動に取り組んでいる団体もある。今後も市民への鑑賞の

## ● 一般質問

清風会代表 高屋敷 英 則 議員

## 山形小学校の早期改築を

教育長一再編を見極め関係部局と協議したい



早期改築が望まれる山形小学校

【問】山形地区の小学校8学区の統合先として決定している山形小学校は老朽化が進み、体育館は山形町の小学校の中で一番狭い施設である。立派な学習環境にある他学区の児童を受け入れる校舎環境にないと思うが早期改築の考えは。

【答】山形小学校は築後38年を経過しており、その間、大規模改造工事、耐震補強工事を実施していることから安全性には問題はない。体育館は374㎡であり山形町の小学校

の中で一番狭いと認識している。再編の状況を見極めながら改築に向け関係部局と協議していききたい。

### 若者定住促進を 市政の柱に

【問】若者定住促進という重要課題を市政の大きな柱と位置づけ、住みよく快適なまちづくりを強力に推進すべきと思うが今後の取り組みは。

【答】まちに活気を与える若者の定住を促進する施策は重要であると認識している。都会へのあこがれなどから地元を離れる若者がいる一方、地元で働きたい若者や、自然の多い場所でも人間らしい暮らしを望む若者も増えていると聞いている。このような声に応えるためにも雇用の場の創出が最も重要であると考えている。

【問】グリーンツーリズムの実践状況と宿泊施設として統廃合などによる廃校舎を活用する考えは。

【答】グリーンツーリズムは地域活性化の有効な施策であり、各団体や受入れ農林漁家のこ

一般質問は、3月2日・3日の2日間行われ、各会派を代表して、桑田鉄男、高屋敷英則、小野寺勝也、上山昭彦の各議員が代表質問を、山田光、小倉建一、梶谷武由、山口健一の各議員が個人質問を行いました。また、各会派では関連質問を行いました。質問と答弁の主な内容は次のとおりです。



# 一般質問

日本共産党久慈市議団代表

小野寺 勝也 議員

## 国保税の引き下げを

### 市長―国保制度は構造的欠点がある

【問】当市の国保加入世帯の31%が所得なし、56%が所得100万円未満となっている。低所得者が多く、保険税に事業主の負担がない国保は国の適切な財政支出があつて、はじめて成り立つ医療保険である。

政府は、かつて国保に50%以上の財政負担をしていたが、現在は25%にまで激減している。秋田県では国保加入者一人当たり9006円を補助しているが、若手県はゼロである。国・県に財政負担の強化を求めながら、市も負担し、国保税の引き下げを図るべきでは。

【答】医療費の増加、景気の低迷による低所得者の増加など制度の構造的欠点がある。国保の安定的、持続的継続のためには国の負担割合の引き上

げが喫緊の課題であり、県にも要望していく。市では今年度国保会計に2億3000万円を一般会計から支出しており、さらなる国保税の引き下げは困難である。

【問】特別養護老人ホームの入所希望者は市内で158人、うち在宅者が56人、早期入所が必要な人は31人となっている。管内の特別養護老人ホームの建設、増床計画を示せ。

【答】野田村で29床、洋野町で29床、普代村で30床の増床が予定されている。

【問】久慈小学校改築の設計業者の選定については、昨年9月14日の第一回選定委員会の審査で「全体にまとまっており設計段階で修正を加えることを条件として」委員全員一致で株式会社久慈設計を選定

している。委員全員一致で選定されたものが再度委員会を開き、別の業者を選定できるのであれば、いろいろと条件をつけて、いかようにも業者を選定できることになるのでは。

【答】設計者の意見とそれに対する委員の捉え方について、改めて確認すべき項目や検討を重ねる必要が生じたことから再度審査会を開催し、その結果、株式会社久慈設計久慈を選定したものである。

### 新街橋の 架け替えを

【問】長内町新街橋付近の無提区間の整備見通し、新街橋の架け替えの見通し及び新築町、田高地区の雨水排水対策は。

【答】堤防工事は平成23年度で



通行止の新街橋

完成するが、新街橋付近の築堤には市道の嵩上げや周辺の住環境への影響などがあり、県と協議し慎重に対応したい。新街橋の架け替えの必要性は認識しているが、多額の費用が必要であり当面維持修繕で対応したい。田高地区の排水対策は、今年7月を目途に事業認可区域に編入したい。

機会を設け、記録保存に努めたい。

【その他の質問●未舗装路線の市道整備 ほか】

◆大沢 俊光 議員

使用料減免の考え方は

【問】福祉目的に使用する場合、市有地の使用料は減免となるのか。

【答】市有地を貸し付ける場合の使用料の減免等については、財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例によって、公共的団体等が公用、または公益事業の用に供する場合等に限り、無償または減額し、貸し付けることができることとなっている。

【その他の質問●地元企業の支援策 ほか】

◆佐々木 栄幸 議員

田高地区の雨水排水計画は

【問】田高地区、長内町第7地割から10地割の下水道雨水排水計画について示せ。

【答】当地区は、大雨により

浸水被害が発生する地区であることから平成22年度、田高地区及び新築町の一部を事業計画の認可区域へ編入するため測量等調査を実施し、本年7月をめどに認可区域拡大の法手続を進めたい。

【その他の質問●子ども手当の見通し】

◆下館 祥二 議員

都市と連携した林業振興を

【問】葛巻町が取り組みを始める都市との連携を参考にした森林整備と林業振興の考えは。

【答】都市と山村が連携した地域林業の振興は、森林の持つ多面的機能の維持増進という観点からも注目を集めており、地元産材の利用拡大が図られることは、森林整備意欲と林家所得の向上につながる。先進事例を参考に南部アカマツをはじめとする高品質、高付加価値型の建築部材の提案や、白樺林の保護など、森林環境保全を目的とした「企業

# 一般質問

新政会代表 上山 昭彦 議員

## ジオパーク認定の推進を

### 市長―いわて三陸地域こそがジオパークにふさわしい

【問】いわて三陸ジオパーク推進協議会が設立されたが、協議会との関わりとジオパーク推進の取り組みは。

【答】ジオパークは地球活動の遺産を主な見どころとする自然公園の中の公園として、エリア認定が開始された取り組みであり、いわて三陸地域こそがジオパークにふさわしい地域であるとの認識のもとに、今年2月に国の関係機関、県、市町村等で構成するいわて三陸ジオパーク推進協議会が設立され、当市としても参画したところである。平成22年度はジオマップを作成し、平成23年度は、ふるさと雇用対策事業を活用して人員を配置するとともに、これまで琥珀等の研究に携わってこられた団体や、地域住民と連携し、さらなる推進を図っていききたい。

【問】市道上長内日吉町線の歩道設置の進捗状況と平成22年度分の工事予定は。

【答】歩道の全体計画延長2700mのうち、平成22年度末で980mが完成する見込みである。用地買収については地権者57名のうち、31名との



堤防の改良が望まれる新街橋付近

契約が完了した。平成22年度分の工事は、舗装工を980m、盛り土工を100mと予定しており、平成23年度も引き続き用地買収及び工事の進捗を図り、早期完成に努めたい。

【問】市道新街橋通り線と堤防の交差部分の路面を20cm程度高くできないのか。

【答】堤防工事は市道新街橋通り線と堤防との交差部分を除き、平成23年度で完了する予定であり、市道との交差部分の改良については、今後も協議を重ねていきたい。

【問】市道上長内下長内線は部分補修ではなく全面改修ができないのか。

### 新たな章を 設けた意義は

【問】久慈市総合計画後期基本計画に第8章「まちづくりのための市政改革」を新たに設けた意義は。

【答】後期基本計画に新たに設けた第8章は、これまで取り組んできた市政改革プログラムの理念を総合計画に盛り込み、市政改革を実行する意義と具体的な目的を改めて明確にし、限られた経営資源を柔軟に活用することにより効率性を高めるものである。また、総合計画の達成状況を客観的に示す主な指標を73項目設定し、達成状況を毎年市民に公表するとともに、既存施策の見直しや新たな施策の立案と実行につなげたい。



## 新年度市民に期待してほしい主な施策5項目は

### 市長―感染症予防接種助成事業に新たにヒブワクチン追加ほか

【問】市長の施政方針演述は、市民の声に応えたものであるが、新年度に市民にぜひ期待してほしい事業は何か。

【答】主な事業は、新たにヒブワクチンを加えた感染症予防接種助成事業、久慈小学校改築事業、子育て支援の拡充と教育環境の改善、廃棄物減量対策事業における環境対策、市単独の新卒雇用支援奨励金交付事業による雇用対策など緊急を要する事業に重点的な予算配分となっている。

【問】まちづくり協議会等は地域組織育成のための別枠予算を措置し、地域主体のまちづくりを支援推進すべきでは。

【答】多種多様な活動を通じて地域づくりに貢献されていると認識しており、活動内容に合致した支援策を講じるなど、協働による市民活動の充実を

目指したい。

【問】久慈駅前再開発のため、駅前ビルを買収し、市街地活性化をいま一度図るべきでは。

【答】市街地活性化の一つの方法であるが、現在は駅前の再開発の計画は持っていない。



再開発が期待される駅前

【問】失業や収入減などによりやむなく住宅を手放している実態把握とその支援対策が必要と思うが。

【答】これに特化した実態把握はしていないが、各種相談を

受ける中で、適切な制度活用への案内を行っている。

【問】現代の幼児の育児方法は以前とかなり違っていると思うが、育児方法を妊婦、母親だけが知っているのではなく一般家庭にも広く周知すべきと思うが。

【答】急激な社会の変化に伴い育児を取り巻く環境も変わってきているが、発達段階における育児の基本は変わっていないものと考えている。市では、育児を地域で見守り支えていく社会を目指し、新生児訪問、地区の健康相談、市広報等など活用し、育児力の向上に努めたい。

【その他の質問項目】市民要望への実施状況／農林水産業の支援策／地域公民館の耐震助成／市職員の健康管理／旅館業者の支援 ほか

の森」の誘致などを通して、森林林業の振興を図ってきたい。

【その他の質問●林道災害】

◆濱欠 明宏 議員

年未年始の低気圧災害の対応

【問】年未年始の低気圧による災害の復旧見通し、被災者への支援について示せ。

【答】農業関係は経営者自ら加入する共済制度等の活用により早急に復旧されるものと考えており、林業関係では林道については早期復旧を期し、製炭窯については復旧支援をしていきたい。水産関係被災は定置網養殖施設、漁船流出など大きな被害を受けており、支援と復旧に万全を期したい。

【その他の質問●ドーム型催事場】

## 清風会

◆畑中 勇吉 議員

地デジ難視聴世帯の見通しは

【問】地上デジタル放送の新

たな難視聴世帯の現状と今年7月に完全移行された際に最終的にテレビを視聴できなくなる世帯の見通しは。

【答】新たな難視聴世帯は、平成23年2月10日現在で55地区1289世帯となっている。地上デジタル放送への未対応世帯の把握は非常に困難な状況にあり、引き続き総務省及び放送事業者等と連携を図りながら広報等による周知や高齢者世帯への個別相談などを実施することで早期に対応を促していきたい。

【その他の質問●防犯灯の故障 ほか】

◆堀崎 松男 議員

ナマコの増養殖に助成を

【問】ナマコの増養殖は当市のつくり育てる漁業振興の一翼を担うものと考えているが取り組みの実態を示せ。

【答】市漁協では二子地区において約3万個、久喜地区において5万6000個の種苗放流試験を実施するとともに

設備管理適正化事業」

## 日本共産党久慈市議団

◆城内 仲悦 議員

位置指定道路等の市道認定を

【問】天神堂の県立久慈病院合同公舎付近の生活道路は市道認定できないのか。

【答】市道認定に当たっては、地域住民からの要望や公共性等を考慮のうえ、市道認定基準を満たすことが必要であり、当該路線は民地に挟まれ一部幅員が市道認定基準に満たないほか、県立久慈病院合同公舎の敷地内を通行していることから、その取り扱いも含め総合的に検討する必要がある。

【その他の質問●ディーセントワーク ほか】

## 新政会

◆泉川 博明 議員

三崎地区に消火栓の設置を

【問】市道三崎漁港線の住宅付近には消火栓がなく、その

## 新市営野球場建設の段取りは

### 教育長―地権者への意向打診、測量、設計、建設、国体会場に

【問】新市営野球場建設地の選定方法と段取りは。

【答】選定方法として、平成9年に久慈運動公園基本計画を策定した際に調査した30か所を参考としながら、庁内で12か所を選定し、自然条件、社会的条件や埋蔵文化財指定などの法的規制等について検討を重ね、6か所を候補地として専門業者に詳細な比較のための基本調査を委託した。

この調査結果を踏まえ、庁議で再度検討を行った結果、最終的に6か所の候補地の中で優先順位を決定した。

今後の進め方として、地権者への意向打診等を行い建設の見通しが立った後、地形測量、用地測量費及び基本設計委託料などの予算措置、そして平成28年度の開催が内々定している岩手国体軟式野球競技で使えるよう目指したい。

【問】平成15年の山内市長初当選時の選挙公約であった市長多選自粛条例提唱についての取り組み状況は。

【答】自らを律する自律規定の観点から検討を進めており、引き続き法律解釈や所要の法整備を含めた国等の動向及び他自治体の状況等を注視しながら、条例提案の内容、時期



新野球場建設候補地6か所

を見極めていきたい。

【問】いわて森のトレー生産協同組合の損害賠償裁判全面敗訴後の当市として取り組みなければならぬ具体的な課題、今後の取り組み目標は。

【答】課題としては、いわて森のトレー生産協同組合の補助金返還資力の見極めと法的回収の可否の判断である。これまで直接交渉による補助金返還請求や債権回収の手法等について県及び弁護士と協議を重ねている。今後においても直接交渉、返還資力の有無と法的回収の可否について判断していかなければならない。

【その他の質問項目】市民との協働を進めるまちづくり推進策／国際交流推進策／ふるさと納税実績と促進策／観光物産展等の開催計画、支援体制／日本一の炭の里づくり推進策 ほか

【その他の質問●土地改良施



# 一般質問

社会民主党

梶谷 武由 議員

## 除雪や買い物など高齢者等の生活支援策は

市長―地域福祉計画により、人と人が支え合う地域づくりをしていきたい

【問】高齢者や障がいのある方は、日常生活を送るうえで様々な場面で苦労している。除雪についての経済的支援、労力的支援の考えは。

また、商品の配達や移動販売は高齢者等にとって大変貴重な存在であり、赤字覚悟で配達をしている小規模事業者もある。営業を継続できるような支援策を考えるべきと思うが考えは。

運転免許証返納者に対し、市民バス運賃の割引の考えは。

【答】高齢者が安心感を持って生活することが大事であり、地域福祉計画により、人と人が支え合う地域づくりをしていきたい。雪かきについても支え合いの中で行っていく仕組みにしたい。日常の買い物に困難してい



徒歩で帰る買物客

【問】特別支援教育支援員の配置により、教員からは指導を行ううえで効果も上がり大変良いと評価を受けているが、平成23年度の配置計画はどのようなになっているのか。

【答】くじかがやきプラン事業として実施しており、対象児童生徒が在籍している学校に不足することなく配置していきたい。

【問】市職員の女性管理職の人数と女性管理職登用計画は。

【答】当市の管理職数は56名であるが女性管理職はいない。女性管理職の登用計画は作成していないが、能力のある職員は男女の区別なく登用していくことが肝要である。

【その他の質問項目】新年度予算編成／地デジ対策／人口減少対策／要援護者名簿／学校統合／灯油高騰対策 ほか

必要性が大きい。消火栓設置の考えはないか。

【答】県道野田長内線と市道三崎漁港線の交差点付近に消防水利として防火水槽が設置されているものの、交差点から東側の集落に係る消火栓の設置については、現地の状況を踏まえ消防水利の確保について検討していきたい。

【その他の質問】●低気圧による漁業被害】

◆木ノ下 祐治 議員

大雪による立木の雪害対策は

【問】年末からの大雪により市内の山林の立木が折れるなどの状況が随所で見られるが山林の被害状況と対策は。

【答】2月10日現在の被害状況は、面積4・86ha、被害額約1037万円となっている。森林国営保険に加入している場合は補償の対象となり、被害木の除去は森林整備の補助事業が活用できることから、被災した山林所有者に制度の普及啓発を図っていきたい。

【その他の質問】●南部アカマツの教育玩具 ほか】

◆澤里 富雄 議員

地デジ放送の移行漏れ対策を

【問】アナログ放送停止が今年7月に迫っている中、デジタル放送への移行漏れを防ぐ諸対策が急務では。

【答】総務省では、完全デジタル化に向け、低所得世帯に対するチューナー支援の拡充、高齢者対策として臨時相談コーナーの開設を予定しており、市では引き続き広報等による周知や、難視聴地区における説明会を開催するなど、総務省及び放送事業者等と連携し、完全移行に向けた取り組みを進めていきたい。

【その他の質問】●宇部、三崎中学校の再編 ほか】

◆中平 浩志 議員

新卒者雇用支援制度の周知を

【問】新卒者雇用支援奨励金制度は各事業者周知されているのか。

この度の地震及び  
大津波で被災されました皆様方へ  
謹んでお見舞い申し上げます

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及び大津波によりお亡くなりになりました方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

また、被害を受けられた皆様方に心からお見舞いを申し上げます。市議会といたしまして、市当局並びに市民の皆様と一丸となって今回の未曾有の大災害からの早期復旧、復興に全力を挙げて取り組んでまいり所存であります。

議員一同

# 一般質問

公明党 山口 健一 議員

## 特定健診の受診率向上対策は

市長―平成23年度から自己負担の無料化等で推進

【問】現在40歳から74歳を対象に特定健診が行われているが、受診率が低いと聞いている。当市の現状と受診率向上対策は。

【答】特定健診の受診率の状況は、平成21年度が26・3％、平成22年度見込みで28・4％となっており、県平均の約40％に比較すると低い状況にある。

その対策として平成23年度からは自己負担額の無料化や、未受診者への積極的な勧奨により受診率の向上を図ってきたい。

【問】小中学校のトイレの水洗化の現状と洋式トイレの設置状況は。

【答】水洗化となっている小中学校は17校であり、10校は簡易水洗式便器を設置しており、水洗化となっていない久喜、小袖小学校、三崎中学校の水洗化は平成23年度予算に計上しているところである。

また、洋式トイレについては、すべての小中学校に設置しているところであるが、設置数が少ない学校もあるため、学校や保護者の意見を聞きながら整備に努めていきたい。

【問】市道小久慈線は小久慈小や長内中学校の通学路であり



歩道設置が望まれる市道小久慈線(上柏木)

大型車の通行も多く危険な状況にある。歩道設置を望む声があるが整備の考え方は。

【答】市道小久慈線は児童生徒の通学路になっており、歩道の必要性は認識している。今後は用地確保の可能性や財政事情等を勘案しながら検討していきたい。

【問】高齢者が増加する中、市庁舎にエレベーターを早急に設置すべきと思うが考えを示せ。

【答】庁舎のエレベーター設置は高齢者など来庁者の利便性向上に必要であると認識しているが多額の費用を要することから現状では困難であると考えている。

【その他の質問項目】町内会支援／地デジ対策／ごみの減量化／ドクターヘリ ほか